



政治活動

やって

OK?NG?

つのポイント

これって
OK?



情報産業労働組合連合会



労働組合が政治活動をする理由とは？

Q. どうして労働組合が政治活動をするの？

◎「働く人の代表」を政治の世界に送り出し、働く人のための世の中をつくるためです



そもそも、労働組合は賃金や労働条件など、会社と交渉して良くしていく組織でしょ？ どうして政治に関わるんですか？



せっかく賃金や労働条件が上がっても、税金や労働法などが改悪されると、企業内での労使関係だけでは解決できず、皆さんの雇用と生活の安定につながりません。

国・地方の政策制度の改善・改革をめざした政治活動に取り組むことも、労働組合の役割のひとつです。

活動	主な活動内容
政策・制度要求	政党要請、国会請願、集会、デモなど
政治教育	政治研修会・学習会の開催など
選挙運動	各級選挙での候補者支援など

Q. 労働組合の政治活動では、どんなことができるの？

◎憲法で自由を保障された活動であり、いつでもどこでも活動ができます

政治の重要性を訴えることや、投票の棄権防止を訴えること、特定の候補者や政治家の支援をすることができます。その手段や方法は明確に定められているものではありませんが、下記のような活動が代表的です。

ビラの配布など
政治活動への
参加呼びかけ



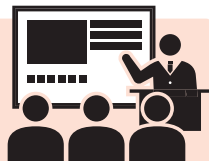
組合員向けの
セミナー・勉強会



政治への関心を
高めるための
広報・情宣活動



組織内議員の
学習会などの
開催



「選挙運動」って何をするの？

Q. 選挙運動っていつでもできるの？

◎選挙ごとに期間が定められています。違反すると処罰されるので注意しましょう

選挙運動は、告示・公示後から投票日の前日まで行うことができます。公職選挙法によって選挙ごとに期間が定められており、選挙期間前の選挙運動は『事前運動』として処罰されるため、注意が必要です。



選挙期間中は、労働組合としてこんなことができます！

- 組合員への投票棄権防止の呼びかけ（「投票に行こう！」「期日前投票を利用しよう！」など）
- 広報活動で今回の選挙の重要性、組合が求める政策、候補者の推薦理由を説明
- ビラや機関誌などの情宣物で投票棄権防止の呼びかけや投票方法などを周知

選挙期間中は、個人としてもこんなことができます！

- 電話活動（電話で推薦候補者への投票依頼を行う）
- ボランティア活動（推薦候補者の選挙事務所の指示のもと、ポスター貼りや電話かけなど）

Q. 選挙運動の三要素って何？ 事前運動で禁止されていることは何なの？

絶対忘れてはいけない大原則

選挙運動の三要素

（公職選挙法より）

- ① 特定の議員選挙において
- ② 特定の候補者を当選させるために
- ③ 選挙人に働きかける（投票依頼）・すべての行為

例：「〇〇さんが次の△△議員選挙に立候補することになりました。
皆さんご支援よろしくお願いします！」

ありがちなフレーズ。しかし、選挙運動の3要素がすべて入っているので、事前運動と誤解されるかもしれません。

この三つのすべてにあてはまる行為を、選挙期間前に行うことはNGです！

次のページから、選挙運動期間中にできること・できないことを具体的に解説します！

※下記の行為を選挙期間前に行うと『事前運動』となり、公職選挙法違反となります

- ・選挙の特定 ・候補者の特定
- ・投票依頼、選挙支援のお願い

※これらは選挙期間中に
行いましょう！



情宣活動の注意ポイント



労働組合の新聞・機関誌でできるコト、
してはいけないコト



◎新聞や機関誌などを活用した情宣活動は政治活動でも強力なツールとなります

いつ配ると効果的?

選挙への関心が高まるタイミングに配布すると効果的です。

ただし、選挙期間前に禁止されている表現もあるため、内容には注意が必要です。



誰に配ればいいの?

組合員全員へ配布するのが基本です。

昨今では特に若者の投票率低下が顕著ですので、職場の若手組合員に直接手渡すのも効果的かもしれません。



→労働組合が発行する新聞や機関誌のOK / NG



組合の発行物は、普段から配布していれば、組合員以外の契約社員などにも**勤務時間外**であれば配布できます。
※告示・公示前は「○○候補予定者」と書きましょう。

新聞・機関紙での情宣活動の条件

- ◎新聞の形態をとっている（題字）
- ◎定期的に発行している（号外もOK）
- ◎政治・選挙以外の記事も掲載する（※選挙ピラとの違いが明確化されていればOK）

問い合わせ



【告示・公示前】

- 選挙に関する報道・論評は内容によってはNGとなります。
- 政治・選挙の意義については内容によってはNGとなります。
- 候補者の組織推薦の周知は内容によってはNGとなります。（選挙運動期間中でも内容によってはNG場合があります）



【告示・公示前】

- 特定の候補や政党への投票呼びかけはできません。（選挙期間中もできません）

【選挙運動期間中】

- 選挙に関する報道・論評はできません。候補者名が入っているクイズ等への景品提供は禁止です。（時期に関わらず禁止されています）

【選挙運動期間後】

- 当選の御礼は禁止されています。



参考

どこがボーダーライン? 見出しの付け方例

告示・公示前

「▽▲党の■■政策を支持」
「組織内候補○○●●を決定」
「○○●●への支持拡大を」

選挙運動期間

「●月○日は投票日」
「投票に行こう!」
「期日前投票の活用を!」

選挙運動期間

「組織内○○●●への支援を!」
「組織内候補は○○●●」
「組織推薦候補一覧、候補者の遊説日程」

ご相談
ください

新聞、ピラ、機関誌などの紙媒体にとどまらず、今ではインターネットによるホームページ、ブログ、SNS に代表される Twitter や Facebook、LINE などでも情報を伝えることができます。
ここでは、情宣活動で気を付けるべきポイントについて解説します。



労働組合がインターネットを使ってできるコト、してはいけないコト



◎ホームページを活用した情宣活動実施のポイント

→ホームページのOK/NG



【告示・公示前】

- 政治活動の意義・重要性、選挙の意義・重要性を伝える。

【選挙運動期間中】

- 推薦候補の名前、政策紹介、演説会の日程を伝える。



【告示・公示前】

- 特定の人(候補者)や政党への投票の依頼はできません。
(選挙運動期間中も禁止されています)



◎電子メールを活用した情宣活動実施のポイント

→電子メール(eメール)のOK/NG



【告示・公示前】

- 労働組合が推薦した理由、推薦候補者の政策を伝える。
- 候補予定者が来る学習会等の案内を伝える。



【告示・公示前】

- 特定の人(候補者)や政党への投票の依頼はできません。
(選挙運動期間中も候補者・政党等以外は禁止されています)



◎ブログ・SNSを活用した情宣活動実施のポイント

→ブログやSNS(Twitter, Facebook, LINE等)のOK/NG



【告示・公示前】

- 政治活動の意義・重要性、選挙の意義・重要性を伝える。

【選挙運動期間中】

- 推薦候補の名前、政策紹介、投票の依頼もOK!



告示・
公示前
NG

告示・
公示後
OK



【告示・公示前】

- 特定の人(候補者)や政党への投票の依頼はできません。
※ただし、選挙運動期間中はOK!積極的に活用しましょう!



各種活動の注意ポイント



**選挙に関わる動員要請時の交通費・動員費支給はNG！
公職選挙法への違反、買収とみなされます！**

そもそも、選挙運動はボランティアで行うことが原則です。
労働組合が動員をかけた組合員に対し、動員費を支給したり、
交通費等の実費を支給することは、運動員買収として立件
されるおそれがあり、NGとなりますので、注意しましょう。



例えば、こんなときは要注意！

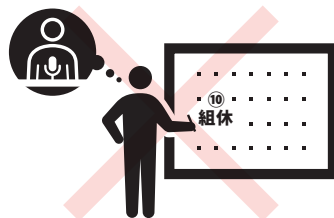
ある労働組合が、候補者の個人演説会に参加した組合員に交通費
と動員費用を支給してしまった。



**組合員に選挙運動関連のボランティア活動に
参加してもらうときは必ず年休を取得してもらいましょう！**

選挙運動への参画は個人によるボランティアが原則です。
そのため、会社の有給休暇を活用して、積極的に活動へ参画
していきましょう。

一市民として社会へ貢献する活動でもあり、活動への参画
を通して、志を同じくする仲間との出会いもあり、成長につな
がります。



例えば、こんなときは要注意！

ある労働組合の支援候補者が演説会を開催。
労働組合役員として、当日のスタッフとして参加したが、会社に
年休申請しておらず、組合休暇申請をして参加してしまった。



情宣活動だけが選挙活動ではありません。講演会を開催したり、スタッフへ協力を仰いだり、さまざまな活動展開が組織内議員を政治の世界に送り込むためには必要となります。

ここでは、各種活動で気を付けるべきポイントについて、解説します。



選挙運動に関わる人たちとの懇親会は要注意！ 飲食をする場合は、必ず割り勘会計にしましょう！

活動をする中で、後援会や支援団体、役員・組合員と意見交換を行うことがあるかもしれません。その際に、飲食の提供（奢り）を行うと、「買収罪」「供応罪」になる可能性があります。

買収・供応は、選挙本番前・選挙後いずれでも成立しますので、選挙運動に関わる人々と一緒に飲食をする場合には、必ずその場で割り勘をするよう徹底しましょう。



例えば、こんなときは要注意！

候補者の演説会の後、打ち上げで参加者同士で近所の居酒屋へ会食に。会計の際に、若手は安めでいいよと均等に割り勘せず、一部費用を年長の役員が多く支払ってしまった。



景品が当たるクイズ等に推薦候補者の名前を使うのはNG！ 候補者の名前や顔が入ったグッズの無料提供もNG！

選挙が近くなると、あらゆる方法で候補者の名前をアピールしたくなりますが、例えば組合ニュースで景品が当たるクイズやクロスワードパズル等を掲載し、その答えを候補者名にするのはNGです。

また、候補者の名前や顔が表示されたグッズを無料で配布することも禁止されています。どちらも買収・事前運動にあたる可能性がありますので注意しましょう。



例えば、こんなときは要注意！

組合の新年旗開きパーティーで抽選会を開催。

5等の景品として候補者の顔と名前がプリントされたタオルを当選者にあげてしまった。



おわりに

～実りある政治活動・選挙運動に向けて～

労働組合が政治活動を行うことは、法律上でも認められています。労働者・生活者の視点に立った施策を立案し、国会をはじめとする各級議会の議員を通じて実現を図ること、審議会などに代表者を派遣して、行政に私たちの意見を反映させることは、重要な政治活動であり、その中に選挙運動が入っているのも事実です。

私たちは法令順守のもと、積極的に各種活動を展開しています。しかし、本誌で紹介した通り、「政治活動としてやっていいこと」と「選挙の事前運動になるからやってはいけないこと」の区別は意外とあいまいです。『公職選挙法』では、どこまでが「やっていいこと」でどこからが「やってはいけないこと」なのか、明確に区別していません。

例え話として、「※スイカ泥棒」があります。スイカの収穫時期にスイカ畑へ散歩に行くと、スイカ泥棒と間違われる可能性があります。しかし種をまいて芽が出たばかりの頃に畑へ行っても、誰も泥棒だと思いません。

いつもやっている取り組みなのに、選挙が近くなると「やってはいけないこと」と疑われてしまう——あいまいな法律ゆえに、そのような可能性もあると注意しましょう。

日常的な活動の中で「これって大丈夫？」と疑問に思ったことは、そのままにせず、ぜひ所属組織の政治担当に確認、または顧問弁護士に相談してみてください。

皆さんのこれからますますのご活躍を期待します！

(※五百蔵洋一弁護士のご発言より、一部引用)

情報産業労働組合連合会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-6

代表☎: 03-3219-2231 / ホームページ: <https://www.joho.or.jp/>

発行

ルールを守って
積極的に活動
していきましょう！

